

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔 東病院臨床検査室 〕

指標名

手指衛生 5 つ(患者に触れる前・清潔無菌操作前・体液に暴露するリスクの後・患者に触れた後・患者の周囲に触れた後)のタイミング順守率の向上

目標・ゴール

達成率 90%以上

目標・ゴール達成による効果

手指衛生 5 つのタイミング遵守測定(直接観察法)において、すべてのタイミングで 90%以上の実施評価を得た。大学病院・東病院合わせ、職種別、部門別に於いても高い評価を得た。

WHO は手指衛生の改善により病院で起こる感染症の 30%を減らせると提言している。

今回の遵守率は感染防止に寄与し、医療の質保証に貢献したと考える。

目標・ゴールに対する成果の状況

[成果] 2024 年度 97%実施率 第 3 者評価

☆ 全体の各タイミングでの手指衛生実施回数は下記の通りでした。

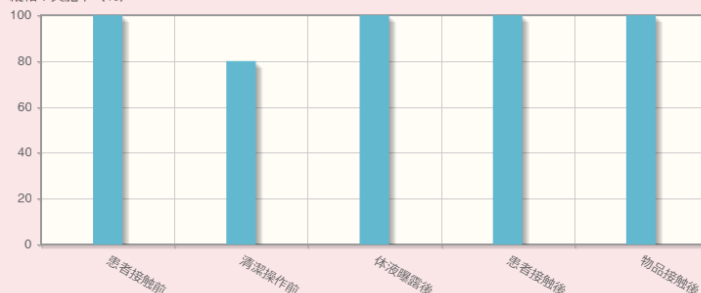
全体のタイミング別手指衛生実施率

タイミング	必要回数	実施回数	実施率
患者接触前	7 / 回	7 / 回	100 %
清潔操作前	5 / 回	4 / 回	80 %
体液曝露後	7 / 回	7 / 回	100 %
患者接触後	7 / 回	7 / 回	100 %
物品接触後	7 / 回	7 / 回	100 %

全体のタイミング別手指衛生実施率

横軸: タイミング
縦軸: 実施率 (%)

画像を表示



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☒A⁺: 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺: 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

患者だけでなく医療従事者をも院内感染から守るため、手指衛生の適切なタイミングでの遵守率を 90%以上に維持することが重要である。この取り組みを継続することで、医療の質が向上し、患者に安心・安全な検査を提供できると考える。